

S&P 500[®] 月例レポート (2024年10月配信)

S&P500月例レポートでは、S&P500の値動きから米国市場の動向を解説します。市場全体のトレンドだけでなく、業種、さらには個別銘柄レベルでの分析を行い、米国市場の現状を掘り下げて説明します。

S&Pダウ・ジョーンズが提供する指数に関する詳細はこちらをご覧ください。

(日本語サイト)

<https://www.spglobal.com/spdji/jp/>

S&P 500 月例レポート

執筆者



ハワード・シルバブラット

S&Pダウ・ジョーンズ・

インデックス

シニア・インデックス・アナリスト

howard.silverblatt@spdji.com

THE S&P 500 MARKET: 2024年9月

個人的見解: FRBの利下げと市場の最高値更新で喜びに沸くも、財政支出と増税に対する懸念が強まる (何ということ)

9月は月間騰落率が最も悪い月であり(1926年以来、平均で1.16%下落)、市場に対する期待感は低く、最初の1週間で4.25%下落するという、週間では2023年3月(週間で4.55%下落)以降で最悪のスタートを切りました。こうした状況を受けて、投資家は「最悪に備えて計画を立て、そこまで悪くはならないことを祈る」をモットーに9月相場に臨みました。しかし、弱気相場(つまりは景気後退、失業率の上昇、原材料価格の高騰)へと向かう過程で奇妙なことが起こりました — 懸念されていたことが何一つ起きなかったのです。経済は堅調さを維持し、インフレは制御され、米連邦準備制度理事会(FRB)は0.50%の利下げを決定し、さらに年内にあと2回、0.25%ずつの利下げが予想されています。そして(警戒されていた)円キャリートレードについても再び話題になること(或いは検討されること)はありませんでした。2024年第2四半期の企業利益は公式に過去最高を記録し(売上高は過去最高に0.3%及びませんでした)、第3、第4四半期の利益も過去最高となることが見込まれています。また、(月末近くになると)中国も思い切った景気支援策を打ち出しました(中国が不動産市場の下支えと消費の喚起という目的を達成するためには、今後も刺激策を継続する必要があります)。こうした状況も米国への低コストの供給を後押ししています(米国の政治家がその阻止を公約に掲げていたとしても)。結果として9月の株式市場は終値で最高値を5度更新し(年初来では43回目)、S&P500指数は最高値を更新して(5,762.48)、9月の取引を終えました。またダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ平均)も9月中旬に7回最高値を更新し(年初来では33回)、過去最高値

(42,330.15 ドル) で月を終えました。S&P 500 指数の 2024 年末の目標株価も上昇しました (6,000、9 月末の S&P500 指数はこれを 4.1%下回る)。金価格も (ようやく) 上昇基調を辿った一方で、ガソリン価格とエネルギー株はともに下落しました。9 月の S&P500 指数の騰落率は 2.02%上昇 (配当込みのトータルリターンはプラス 2.14%) と極めて満足できる結果となり、年初来でも 20.81%上昇 (同プラス 22.08%) となりました。市場関係者にとっては全てが順調に進みました。ブローカーが顧客宛てに送付した四半期運用報告書には、S&P500 指数が過去 1 年間で 34.38%上昇 (同プラス 36.35%) したことが誇らしげに「弊社の運用実績をご覧ください。僅かな手数料でこれだけ成果を達成しました」という文章とともに記載されており、「利益を確定して、売り抜けましょう」 (もしくは年内はもう休暇を楽しみましょう) というコメントはほとんどありませんでした。市場参加者の間では楽観的なムードが支配的で、この先の暗い見通しの可能性について話題にしたがる人はいませんでした。

インデックスの動き

- 9 月は S&P500 指数の月間騰落率が最も悪い月で、1926 年以降の平均騰落率は 1.16%の下落となっています。2024 年 9 月も最初の週に 4.25%下落しました。背景には、金利動向、FRB の金融政策、円キャリートレード、景気に対する警戒感があり、売り一色の展開となりました。売りが一巡すると、市場では見直しの動きから底値買いが入り、第 2 週には相場は反発に転じて 4.02%上昇しました。投資家のセンチメントが一変し、市場の注目は FRB の金融政策に集まりました。FRB に関して言えば、政策金利を 0.50% (賛成 11 票に対して反対は 1 票) 引き下げて、4.75%-5.00%とすることを決定しました。その後の数日間で S&P500 指数は 5,700 を (終値でも) 突破し、終値での過去最高値を更新しました。ダウ平均も史上初めて終値で 42,000 ドルを突破し、過去最高値を更新しました。9 月中に S&P500 指数は 5 回にわたり最高値を更新し (年初来では 43 回)、ダウ平均は 7 回更新しました (年初来では 33 回)。
 - 9 月に S&P500 指数は 2.02%上昇しました (配当込みのトータルリターンはプラス 2.14%)。8 月は 2.28%上昇 (同プラス 2.43%)、7 月は 1.13% 上昇 (同プラス 1.22%) でした。
 - 過去 3 カ月間の S&P500 指数の騰落率は 5.53%の上昇となりました (同プラス 5.89%)。
 - 年初来では 20.81%上昇 (同プラス 22.08%) となり、年率換算すると 23.94%上昇 (同プラス 29.43%) に相当します。

- 過去1年間では34.38%上昇（同プラス36.35%）となっており、四半期報告書に素晴らしい運用成果として記載されるでしょう。
 - 9月は値上がり銘柄数が324銘柄、値下がり銘柄数が179銘柄となり、差は縮小したものの、引き続き値上がり銘柄数が圧倒的に多くなりました（8月は値上がり銘柄数が355銘柄に対し、値下がり銘柄数は148銘柄）。
 - 9月は20営業日のうち12営業日で上昇し（8月は22営業日のうち13営業日で上昇、年初来では168営業日のうち107営業日で上昇）、5営業日で1%以上変動しました（3営業日が上昇、2営業日が下落）。年初来では41営業日で1%以上変動しました（27営業日が上昇、14営業日が下落）。
 - 11セクターのうち、8セクターが上昇しました（8月は9セクターが上昇）。
- S&P500 指数の時価総額は9月に1兆2,630億ドル増加して（8月の1兆590億ドル増加を上回る）、48兆7,010億ドルとなりました。年初来では8兆6,620億ドル増加しました。2023年は7兆9,060億ドルの増加、2022年は8兆2,240億ドルの減少でした。
- ダウ平均は、9月に終値での最高値を7回更新し（年初来では33回）、42,000ドルを（終値でも）突破しました（終値最高値は42,330.15ドル、取引時間中の最高値は42,628.32ドル）。なお、8月は4回、7月は3回最高値を更新しています。同指数は9月に1.85%上昇して（配当込みのトータルリターンはプラス1.96%）、42,313.00ドルで月を終えました。8月は1.76%上昇して（同プラス2.03%）、41,563.08ドル、7月は4.41%上昇して（同プラス4.51%）、40,842.79ドルで月を終えました。過去3カ月の騰落率は8.21%上昇（同プラス8.72%）、年初来では12.31%上昇（同プラス13.93%）、過去1年間では26.33%上昇（同プラス28.85%）となっています。2023年は13.70%の上昇（同プラス16.18%）、2022年は8.78%の下落（同マイナス6.86%）でした。
- **9月の日中ボラティリティ**（日中の値幅を安値で除して算出）は、1.08%と8月の1.32%から低下し（7月は0.95%）、年初来では0.93%となっています。なお、2023年通年は1.04%、2022年は1.83%、2021年は0.97%、2020年は1.51%でした（長期平均は1.42%）。
- **9月の出来高**は、8月に前月比1%増加した後に、同8%増加し（営業日数調整後）、前年同月比では8%増加となりました。2024年9月までの12カ月間では前年同期比6%減少しています。2023年通年では前年比1%減で、2022年通年では同6%増でした。

- **9月**は1%以上変動した日数は20営業日中5日（上昇が3日、下落が2日）、2%以上変動した日数は1日（下落）でした。8月は1%以上変動した日数は22営業日中9日（上昇が6日、下落が3日）、2%以上変動した日数は2日（上昇が1日、下落が1日）でした。年初来では、1%以上変動した日数は41日（上昇が27日、下落が14日）で、2%以上変動した日数は5日（上昇が2日、下落が3日）でした。2023年通年は、1%以上変動した日数が250営業日中63日（上昇が37日、下落が26日）、2%以上変動した日数が2日（上昇が1日、下落が1日）でした。9月は20営業日中9日で日中の変動率が1%以上となり、3日で日中の変動率が2%以上となりました。対して8月は1%以上の変動が22営業日中14日で、2%以上変動した日が4日ありました。年初来では、65日で日中の変動率が1%以上となり、2%以上変動した日数は9日ありました。2023年通年では1%以上の変動が113日、2%以上の変動が13日で、3%以上の変動はありませんでした（直近で3%以上の変動があったのは2022年11月30日）。2022年は1%以上の変動が219日、2%以上の変動が89日、3%以上の変動が20日でした（4%以上の変動が4日、5%以上の変動が1日）。

過去の実績を見ると、9月は43.8%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は3.28%、下落した月の平均下落率は4.70%、全体の平均騰落率は1.16%の下落となっており、最もパフォーマンスの悪い月となっています。2024年9月のS&P500指数は2.02%の上昇でした（9月では2019年の1.72%以来のプラスリターン）。

10月は57.3%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は4.25%、下落した月の平均下落率は4.61%、全体の平均騰落率は0.51%の上昇となっています。

今後の米連邦公開市場委員会 FOMC のスケジュールは、2024年は11月6日-7日、12月17日-18日、2025年は1月28日-29日、3月18日-19日、5月6日-7日、6月17日-18日、7月29日-30日、9月16日-17日、10月28日-29日、12月9日-10日となっています。

● 主なポイント

- 9月の市場は減速したものの上昇を続け、FRBによる0.50%の利下げもあり、結果的に2.02%の上昇となりました（配当込みのトータルリターンはプラス2.14%）。8月は2.28%上昇（同プラス2.43%）、7月は辛うじて1.13%上昇（同プラス1.22%）、6月（3.47%上昇、同プラス3.59%）と5月（4.80%上昇、同プラス4.96%）は力強い上昇を見せていました。これにより、2024年第3四半期の3カ月間では5.53%上昇（同プラス5.89%）となりました。年初来では20.81%上昇（同プラス22.08%）となり、年率換算すると23.94%上昇（同プラス28.43%）

に相当します。過去1年間では34.38%上昇（同プラス36.35%）となっています。

- マグニフィセント・セブンは、8月は下落してS&P500指数のトータルリターンを0.75%押し下げましたが、9月は反転して同指数のトータルリターンの55.2%を占めました。これら7銘柄のS&P500指数の年初来上昇率に占める割合は45.3%となっています。9月は、7銘柄の株価が平均5.72%上昇したのに対し、指数構成銘柄の平均騰落率は2.10%上昇でした。

○ 9月の主なデータ

- 9月のS&P500指数は、上昇基調が続いて過去最高値の更新を続け、2.02%上昇して月を終えました。これで5カ月連続の上昇となり（8月は2.28%上昇、7月は1.13%上昇、6月は3.47%上昇、5月は4.80%上昇）、5カ月累計では14.43%上昇しています。9月は20営業日のうち12営業日で上昇しました（8月は22営業日のうち13営業日で上昇）。また、値上がり銘柄数が324銘柄、値下がり銘柄数が179銘柄となり、差が縮小したものの、依然として値上がり銘柄が上回りました（8月は値上がり銘柄数が355銘柄、値下がり銘柄数は148銘柄でした）。9月の出来高は前月比7%増、前年同月比では8%増となりました。
- ✓ 9月は11セクターのうち8セクターが上昇しました。8月は9セクターが上昇、7月も9セクターが上昇しました。9月のパフォーマンスが最高となったのは一般消費財で、7.02%上昇しました（年初来では13.21%上昇、2021年末比では0.33%下落）。パフォーマンスが最低だったのは前月に続いてエネルギーで、2.79%下落しました（同5.69%上昇、同60.02%上昇）。
- S&P500指数は9月に2.02%上昇して、5,762.48で月を終えました（配当込みのトータルリターンはプラス2.14%）。8月は2.28%上昇（同プラス2.43%）して5,648.40、7月は1.13%上昇（同プラス1.22%）して5,522.30でした。過去3カ月間（第3四半期）では5.53%上昇（同プラス5.89%）、年初来では20.81%上昇（同プラス22.08%）、過去1年間では34.38%上昇（同プラス36.35%）となりました。2023年通年は24.23%上昇（同プラス26.29%）、2022年通年は19.44%下落（同マイナス18.11%）でした。
- ✓ S&P500指数はFRBによる0.50%の利下げに反応し、初めて5,700を突破しました。9月には終値での過去最高値を5回更新しました（8月は0回、7月は7回、6月は7回、5月は2回、4月は0回、3月は8回、2月は8回、1月は6回）。年初来での最高値更新回数は43回となりました。

た。2023年の最高値更新回数は0回、2022年は1回、2021年は70回でした（過去最高は1995年の77回）。

- ✓ コロナ危機前に付けた2020年2月19日の高値からは70.18%上昇（同プラス83.08%）となっています。
- 米国10年国債利回りは8月末の3.91%から3.78%に低下して月を終えました（2023年末は3.88%、2022年末も3.88%、2021年末は1.51%、2020年末は0.92%、2019年末は1.92%、2018年末は2.69%、2017年末は2.41%）。30年国債利回りは8月末の4.20%から4.13%に低下して取引を終えました（同4.04%、同3.97%、同1.91%、同1.65%、同2.30%、同3.02%、同3.05%）。
- 英ポンドは8月末の1ポンド=1.3131ドルから1.3374ドルに上昇し（同1.2742ドル、同1.2099ドル、同1.3525ドル、同1.3673ドル、同1.3253ドル、同1.2754ドル、同1.3498ドル）、ユーロは8月末の1ユーロ=1.1050ドルから1.1136ドルに上昇しました（同1.0838ドル、同1.0703ドル、同1.1379ドル、同1.2182ドル、同1.1172ドル、同1.1461ドル、同1.2000ドル）。円（対米ドル）は8月末の1ドル=146.14円から143.71円に上昇し（同141.02円、同132.21円、同115.08円、同103.24円、同108.76円、同109.58円、同112.68円）、人民元は8月末の1ドル=7.0930元から7.0180元に上昇しました（同7.1132元、同6.9683元、同6.3599元、同6.6994元、同6.9633元、同6.8785元、同6.5030元）。
- 9月末の原油価格は7.1%下落し、8月末の1バレル=73.58ドルから同68.36ドルとなりました（2023年末は同71.31ドル、2022年末は同80.45ドル）。米国のガソリン価格（EIAによる全等級）は9月に3.8%下落し、1ガロン=3.303ドルとなりました（8月末は3.433ドル、2023年末は同3.238ドル、2022年末は同3.203ドル、2021年末は同3.375ドル）。2020年末から原油価格は41.2%上昇し（2020年末は1バレル=48.42ドル）、ガソリン価格は41.8%上昇しました（2020年末は1ガロン=2.330ドル）。
 - 2024年8月時点のEIAの報告によると、ガソリン価格の内訳は、55%が原油、17%が販売・マーケティング費、13%が精製コスト、15%が税金となっています。
- 金価格は8月末の1トロイオンス=2,535.40ドルから上昇し、2,654.50ドルで9月の取引を終えました（2023年末は2,073.60ドル、2022年末は1,829.80ドル、2021年末は1,901.60ドル、2020年末は1,520.00ドル、2019年末は1,284.70ドル、2018年末は1,305.00ドル）。
- VIX恐怖指数は8月末の15.00から16.73に上昇して9月を終えました。月中の最高は23.76、最低は14.90でした（2022年末は21.67、2021年末は17.22、2020年末は22.75、2019年末は13.78、2018年末は16.12）。
 - 同指数の2023年の最高は30.81、最低は11.81でした。

- 同指数の2022年の最高は38.89、最低は16.34でした。
 - 同指数の2021年の最高は37.51、最低は14.10でした。
 - 同指数の2020年の最高は85.47、最低は11.75でした。
- 目標株価は引き続き上昇しています。S&P500指数に対する市場関係者の1年後の目標株価は2023年11月末時点から10カ月連続で上昇し、現在値から8.7%上昇の6,265となっています（8月末時点では10.4%上昇の6,238、7月末時点では6,119）。それ以前の目標値は、9カ月連続の低下から11カ月連続の上昇を経て、2023年11月まで2カ月連続で低下していました。ダウ平均の目標株価も3カ月連続の上昇から2カ月連続の低下を経て、9月まで10カ月連続で上昇し、現在値から5.1%上昇の44,468ドルとなっています（8月末時点では6.5%上昇の44,282ドル、7月末時点では44,097ドル）。

● 米国経済

- 8月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は、事前予想の48.0に対して47.9となりました。速報値は48.0、7月は49.6でした。
- 8月のISM製造業景気指数は、事前予想の47.5に対して47.2となりました。7月は46.8でした。
- 8月のサービス業PMIは、7月の55.0から上昇して55.7となりました。事前予想は55.2でした。
- 8月のISM非製造業景気指数は、事前予想の51.1に対して51.5となりました。7月は51.4でした。
- 9月のPMI速報値は、製造業が8月の47.9を下回る47.0、サービス業は8月の55.7を下回る55.4となりました。
- 8月の消費者物価指数（CPI）は、事前予想通りの前月比0.2%上昇となりました（7月は同0.2%上昇）。前年同月比では2.5%上昇となり、7月の同2.9%上昇から低下しました。食品とエネルギーを除いたコアCPIは、前月比で0.3%上昇、前年同月比では3.2%上昇となりました（7月も同3.2%上昇）。
- 8月の生産者物価指数（PPI）は、予想通りの前月比0.2%上昇となりました（7月は同0.1%上昇）。前年同月比では1.7%上昇となり、7月の同2.2%上昇から低下しました。コアPPIは、前月比で0.3%上昇、前年同月比では2.4%上昇しました（7月も同2.4%上昇）。
- 2024年第2四半期のGDP成長率速報値は、市場予想通りの前期比年率3.0%となりました。個人消費支出（PCE）は前期比2.8%増でした。
- 2024年第2四半期の企業利益は前年同期比14.2%増となりました。
- 8月の個人所得は前月比0.2%増となりました。事前予想は同0.4%増でした（7月は同0.3%増）。個人消費支出は事前予想の同0.3%増に対し、同0.2%増となりました（7月は同0.5%増）。8月のPCE価格指数は、前月比0.1%上昇、前年同月比

では2.2%上昇となりました（7月は同2.5%上昇）。8月のコアPCE価格指数は、前月比0.1%上昇、前年同月比では2.7%上昇となりました（7月は同2.6%上昇）。

- 2024年第2四半期の労働生産性の改定値は前期比年率2.5%上昇と、速報値の同2.3%上昇から上方修正されました。単位労働コストは前期比0.4%上昇と、速報値の同0.9%上昇から下方修正されました。
- 8月の鉱工業生産指数は、市場予想の前月比0.1%上昇に対し、同0.8%の上昇となりました。7月は当初発表の前月比0.6%低下から同0.9%低下に下方修正されました。設備稼働率は78.0%となり、7月の77.4%から上昇しました。
- 7月の製造業受注は市場予想の前月比4.6%増に対して同5.0%増となりました。6月は同3.3%減でした。
- 8月の耐久財受注は市場予想の前月比2.7%減に対し、同横ばいでした。7月は同9.9%増でした。
- 7月の卸売在庫は市場予想の前月比0.3%増に対し、同0.2%増となりました。6月は当初発表の同0.2%増から同横ばいに下方修正されました。
 - 8月の卸売在庫は前月比0.2%増（市場予想通り）となりました。7月は同0.3%増でした。
- 8月の小売在庫は前月比0.5%増となりました。7月は同0.8%増でした。
- 7月の企業在庫は前月比0.4%増となりました。6月は同0.3%増でした。
- 7月の建設支出は市場で前月比0.1%増が見込まれていたのに対し、同0.3%減となりました。6月分は当初発表の前月比0.3%減から同横ばいに上方修正されました。7月は前年同月比では6.7%増（6月は同7.2%増）でした。
- 7月の貿易収支の赤字額は市場予想通り788億ドルとなりました。6月は733億ドルの赤字でした。
 - 8月の財の貿易収支の速報値は1,000億ドルの赤字が見込まれていたのに対し、943億ドルの赤字となりました。輸入は前月比1.6%減（7月は同2.3%増）、輸出は同2.4%増（7月は同横ばい）でした。
- 8月の輸入物価指数は前月比0.3%下落しました。7月は同0.1%上昇でした。前年同月比では0.8%上昇と、7月の同1.6%上昇から鈍化しました。輸出物価指数は前月比0.7%下落となりました。7月は当初発表の同0.7%上昇から同0.5%上昇に下方修正されました。8月は前年同月比では0.7%下落と、7月の1.4%上昇から低下しました。
- 9月のミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は前月の67.9から69.0に上昇しました。1年先のインフレ期待は前月の2.8%から2.7%に低下しました。
- 8月の景気先行指数は前月比0.2%の低下となりました。7月は同0.6%の低下でした。

- 民間調査機関コンファレンスボードが発表した9月の消費者信頼感指数は事前予想の103.0に対し、98.7となりました。8月は当初発表の103.3から105.6に上方修正されました。
- 9月のミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は事前予想の69.9に対し、70.1となりました。1年先のインフレ期待は速報値から変わらずの2.7%でした。

● 雇用関係

- 8月のADP全米雇用統計では民間部門雇用者数が9万9,000人増となり、市場予想の14万人増を下回りました。7月は当初発表の12万2,000人増から11万1,000人増に下方修正されました。
- 8月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が14万2,000人増と、市場予想の16万人増を下回りました。7月は当初発表の11万4,000人増から8万9,000人増に下方修正されました。
 - 8月の失業率は、予想が7月から横ばいの4.3%だったのに対し、4.2%に低下しました（6月は4.1%、5月は4.0%、4月は3.9%、3月は3.8%、2月も3.9%、1月と2023年12月、11月は3.7%、10月は3.9%、9月は3.8%でした。2020年2月は3.5%でしたが、同年5月は13.3%となりました）。
 - 労働参加率は7月から横ばいの62.7%となりました（6月は62.6%、5月は62.5%、4月は62.7%、3月は62.7%、2月、1月と2023年12月は62.5%、11月は62.8%、10月は62.7%、9月は62.8%）。
 - 8月の週平均労働時間は、予想通り7月の34.2時間から34.3時間に増加しました（6月は34.3時間、5月は34.3時間、4月は34.3時間、3月は34.4時間、2月は34.3時間、1月は34.2時間、2023年12月は34.3時間、11月は34.4時間、10月は34.3時間、9月は34.4時間）。
 - 8月の平均時給は前月比0.3%増の予想に対し、同0.4%増（前月の35.07ドルから35.21ドルに増加）となりました（7月は同0.2%増、6月は同0.3%増、5月は同0.2%増、4月は同0.2%増、3月は同0.3%増、2月は同0.2%増、1月は同0.5%増、2023年12月、11月は同0.4%増、10月は同0.2%増、9月は同0.3%増）。
 - 前年同月比では3.8%増と、市場予想の3.7%増を上回りました（7月は同3.6%増、6月は同3.8%増、5月は同4.1%増、4月は同4.0%増、3月は同4.1%増、2月は同4.3%増、1月は同4.4%増、2023年12月は同4.0%増、11月は同4.0%増、10月は同4.0%増、9月は同4.2%増）。
- 7月のJOLTS（求人労働異動調査）によると、求人数は767万3,000件（市場予想は810万人件）でした。6月は当初発表の818万4,000件から791万件に下方修正されました。

- 失業保険継続受給件数（季節調整済み）は、前月の186万3,000件から183万4,000件に減少しました。
 - 2024年9月5日発表の週間新規失業保険申請件数：22万7,000件（当初の発表通り）。
 - 2024年9月12日発表の週間新規失業保険申請件数：23万件
 - 2024年9月19日発表の週間新規失業保険申請件数：21万9,000件
 - 2024年9月26日発表の週間新規失業保険申請件数：21万8,000件

● 企業業績

- 2024年第2四半期の決算発表は9月30日からの週に終了し、最終結果がまとまります。暫定結果に基づくと、500銘柄のうち394銘柄（78.8%）で営業利益が予想を上回り、498銘柄中305銘柄（61.1%）で売上高が予想を上回りました。
 - 2024年第2四半期の営業利益は前期比で6.8%増、前年同期比では6.4%増が見込まれており、従来過去の最高の2021年第4四半期を2.9%上回り、最高益を更新する見通しです。
 - 売上高は前期比で3.6%増、前年同期比では5.8%増となる見通しで、過去最高を記録した2023年第4四半期を僅か0.3%下回る水準となる見込みです。
 - 2024年第2四半期の営業利益率は、2024年第1四半期の11.58%と2023年第2四半期の11.87%を上回る11.94%になると予想されます（1993年以降の平均は8.83%、過去最高は2021年第2四半期の13.54%）。
 - 2024年第2四半期中に株式数の減少によってEPSが大きく押し上げられた発表済みの銘柄の割合は12.7%となっています。この割合は、2023年第1四半期は13.1%、2023年第2四半期は16.3%でした。
- 2024年第3四半期に目を向けると、決算期がずれている15銘柄が決算発表を終え、11銘柄で営業利益が予想を上回り、15銘柄中11銘柄でも売上高が予想を上回りました。
 - 2024年第3四半期の営業利益は前期比で3.6%増、前年同期比で15.7%増と予想され、再度過去最高を更新する見通しです。
- 2024年通年の利益は前年比10.8%増が見込まれており、この予想に基づく2024年の予想株価収益率（PER）は24.3倍となっています。
- 2025年通年の利益は前年比16.2%増が見込まれており、予想PERは21.0倍となっています。

● 個別銘柄

- 航空機メーカーBoeing (BA) の製造ラインの従業員がストライキに突入しました。同社では8月にケリー・オルトバーグ氏が新最高経営責任者 (CEO) に就任しており、スト開始後に従業員の一部帰休を開始しました。
- iPhone メーカーの Apple (AAPL) は同社に対する追徴課税を巡る EU 司法裁判所での訴訟で敗訴しました。同社は144億ドルの追徴金を課される可能性があります。
- 予想外の動きとして、スポーツシューズ・アパレルメーカーの Nike (NKE) は、ジョン・ドナホー現 CEO に代えて、同社の消費者及びマーケットプレイス部門の元プレジデント (2020年に退社) であるエリオット・ヒル氏を CEO に任命すると発表しました。
- 米司法省は、「ほぼあらゆるもので」デビットカード・ネットワークを独占しているとして、クレジットカード大手の Visa (V) を提訴しました。

● 配当金

- 2024年9月の配当支払い額は前年同月比31.3%増となりました。8月は同5.9%減、7月は同9.0%増でした。2024年第3四半期の配当支払い額は前年同期比8.3%増で過去最高を更新し、年初来では6.0%増加しています。
 - 9月の配当支払金は前年同月の1株当たり4.84ドルから6.35ドルに増加しました。
 - 2024年第3四半期の配当支払金は1株当たり18.68ドルと、2023年第3四半期の17.26ドル、2024年第2四半期の18.26ドルから増加し、過去最高を更新しました。
 - 年初来の配当支払金は1株当たり55.02ドルと、前年同期の51.93ドルから増加しました。
 - 過去12カ月間の配当支払金は1株当たり73.40ドルと、前年同期の69.31ドルから増加しました。
- 2024年9月は、増配が16件、配当開始が0件、減配が1件で、配当停止は0件でした。2023年9月は、増配が16件、配当開始が1件で、減配が1件、配当停止は0件でした。
 - 年初来では、増配が251件、配当開始が6件、減配が12件、配当停止が2件となっています。2023年の同期間は、増配が256件、配当開始が8件、減配が20件で、配当停止は4件でした。
 - 2023年通年では、増配が348件、配当開始が11件、減配が26件、配当停止が4件ありました。2022年は、増配が377件、配当開始が7件、減配が5件で、配当停止はありませんでした。

- 9月の増配率の中央値は、8月の6.76%から4.63%に低下しました（7月は5.66%でした）。年初来では6.45%（8月末時点は6.76%、7月末時点は6.67%）となっています。9月の平均増配率は8月の7.15%から7.66%に上昇し（7月は9.24%）、年初来では8.30%（8月末時点は8.35%。いずれも2倍以上になった銘柄を除く）となりました。2023年の年間の増配率の中央値は7.01%（2022年と2021年はともに8.33%）、平均値は8.68%（同11.80%、同11.76%）でした。
- 2024年の配当に関して、予想は引き続き増加となっており、年間の増配率は1936年以降の平均である5.79%を上回る見通しです。この予想では、Alphabet（GOOG）による最近の配当開始（年間配当額を87億ドル押し上げ）、米銀による6月と7月の増配（FRBが6月にストレステストを通じて認可）、米連邦公開市場委員会（FOMC）による年内もう2回の0.25%の追加利上げの可能性に加えて、景気の大幅な減速は回避され、インフレ再燃への懸念は限定的（だが高まりつつある）で、政府の財政政策の大きな調整はない（政策とインセンティブの継続を予想）ことを織り込んでおり、2024年の実際の1株当たり配当支払額は、2023年から約6%増加すると予想しています（2023年は前年比5.05%増、2022年は同10.80%増）。これにより2024年の現金配当は、15年連続の増加と13年連続の過去最高の更新が見込まれます。
 - 注目すべき点として、2024年第3四半期の配当支払額は過去最高を更新し、予想によれば、2024年第4四半期の支払額も再度過去最高を更新する見通しです。

S&P 500 トータル・リターン：累積

	S&P 500	S&P MidCap 400	S&P SmallCap 600	S&P Composite 1500	ダウ平均
2024年 9月	2.14%	1.16%	0.85%	2.05%	1.96%
2024年年初来	22.08%	13.54%	9.33%	21.26%	13.93%
3カ月	5.89%	6.94%	10.13%	6.04%	8.72%
6カ月	10.42%	3.26%	6.71%	9.93%	7.35%
12カ月	36.35%	26.79%	25.86%	35.54%	28.85%
3年	40.17%	24.12%	12.46%	38.49%	32.98%
5年	109.83%	74.49%	62.58%	106.36%	74.52%
10年	250.98%	167.03%	160.52%	242.95%	211.43%
15年	627.59%	469.79%	452.97%	613.61%	522.21%
20年	665.29%	611.10%	535.89%	663.96%	581.90%
25年	616.54%	1071.91%	995.40%	659.18%	630.82%

S&P 500 トータル・リターン：年率

12カ月	36.35%	26.79%	25.86%	35.54%	28.85%
3年	11.91%	7.47%	3.99%	11.46%	9.97%
5年	15.98%	11.78%	10.21%	15.59%	11.78%
10年	13.38%	10.32%	10.05%	13.12%	12.03%
15年	14.15%	12.30%	12.08%	14.00%	12.96%
20年	10.71%	10.31%	9.69%	10.70%	10.07%
25年	8.20%	10.35%	10.05%	8.45%	8.28%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500 構成銘柄の騰落状況

上昇／下落	9月	平均パーセント 変化 (%)	3カ月	平均パーセント 変化 (%)	年初来	平均パーセント 変化 (%)
上昇	324	5.26	393	14.33	391	22.84
下落	179	-3.58	110	-9.52	110	-13.55
10%以上の上昇	32	16.34	258	18.87	292	28.90
10%以上の下落	11	-12.66	38	-19.77	57	-22.64
25%以上の上昇	5	31.30	44	31.48	135	42.29
25%以上の下落	0	0.00	8	-35.66	20	-37.05
50%以上の上昇	0	0.00	0	0.00	27	72.88
50%以上の下落	0	0.00	0	0.00	3	-56.50

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500指数のセクター株価：2024年9月30日

S&P 500指数の株価変動	2021年		2021年 末以降の 時価総額 (10億ドル)	SVB危機 以降 (2024/9/30~ 2023/3/8)	バイデン 大統領の 就任以降 (2024/9/30~ 2021/1/20)	米大統領選 以降 (2024/9/30~ 2020/11/3)	最高値 以降 (2024/9/30~ 2024/9/30)	2022 年10月 安値以降 (2024/9/30~ 2022/10/12)	2020年2月 高値以降 (2024/9/30~ 2020/2/19)	新型コロナウイルス発生 後の安値以降 (2024/9/30~ 2020/3/23)	2024年9月			
	年初末 騰落率(%)	2021年 末以降 騰落率(%)									変動額	9月	3か月	6か月
エネルギー	5.6%	60.02%	\$536	4.61%	104.70%	203.23%	0.00%	9.80%	273.68%	64.27%	-2.79%	-3.12%	-6.21%	-2.55%
素材	12.62%	6.68%	\$52	17.97%	27.24%	45.83%	0.00%	40.90%	151.46%	59.96%	2.41%	9.20%	3.85%	22.88%
資本財・サービス	18.90%	28.17%	\$1,004	32.81%	51.27%	69.26%	0.00%	59.93%	178.37%	61.92%	3.27%	11.15%	7.53%	33.76%
一般消費財	13.21%	-0.33%	-\$138	44.74%	17.61%	33.85%	0.00%	46.41%	124.90%	53.15%	7.02%	7.59%	8.07%	27.01%
生活必需品	16.46%	10.34%	\$495	18.11%	31.63%	34.43%	0.00%	25.95%	77.22%	34.09%	0.59%	8.28%	9.03%	22.06%
ヘルスケア	12.96%	9.28%	\$290	22.23%	30.02%	46.86%	0.00%	26.41%	106.26%	48.40%	-1.82%	5.65%	4.21%	19.67%
金融	20.40%	16.02%	\$1,976	30.06%	46.96%	82.76%	0.00%	49.88%	156.91%	46.33%	-0.67%	10.21%	7.53%	36.58%
情報技術	29.63%	44.13%	\$3,667	80.17%	90.14%	121.23%	0.00%	115.62%	255.31%	144.43%	2.45%	1.44%	15.25%	51.56%
コミュニケーション・サービス	27.88%	17.61%	\$217	77.62%	39.64%	57.69%	0.00%	95.47%	128.36%	63.03%	4.53%	1.42%	10.66%	41.58%
公益事業	27.45%	12.81%	\$224	23.11%	27.77%	24.81%	0.00%	31.34%	80.15%	15.51%	6.43%	18.46%	23.03%	37.13%
不動産	11.48%	-13.64%	\$55	17.20%	22.25%	27.27%	0.00%	31.57%	76.82%	9.65%	2.77%	16.29%	13.02%	31.17%
S&P 500	20.81%	20.90%	\$8,344	44.35%	49.60%	71.04%	0.00%	61.10%	157.55%	70.18%	2.02%	5.53%	9.67%	34.38%
S&P 500のトータルリターン	22.08%	26.25%		47.80%	58.33%	81.69%	0.00%	66.14%	176.52%	83.08%	2.14%	5.89%	10.42%	36.35%
S&P500の株価	5762.48	4766.18	3992.01	3851.85	3369.16	5762.48	3577.03	2237.40	3386.15	5648.40	5460.48	5254.35	4288.05	
パフォーマンスが最高のセクター	29.63%	60.02%		80.17%	104.70%	203.23%	0.00%	115.62%	273.68%	144.43%	7.02%	18.46%	23.03%	51.56%
パフォーマンスが最低のセクター	5.69%	-13.64%		4.61%	17.61%	24.81%	0.00%	9.80%	76.82%	9.65%	-2.79%	-3.12%	-6.21%	-2.55%
パフォーマンスの差	23.94%	73.66%		75.55%	87.09%	178.42%	0.00%	105.82%	196.86%	134.78%	9.80%	21.58%	29.23%	54.11%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500騰落率ベスト10：2024年9月

ティッカー	会社名	9月	第3四半期	年初末	2022年末 以降	2021年末 以降	2020年 3月23日以降	2020年 2月19日以降	2000年 以降	セクター
VST	Vistra Corp.	38.76%	37.87%	207.74%	410.95%	420.60%	817.49%	422.43%		公益事業
CEG	Constellation Energy Corp	32.19%	29.83%	122.45%	201.61%					公益事業
UAL	United Airlines Holding, Inc	29.56%	17.26%	38.29%	51.35%	30.33%	117.37%	-28.15%		資本財・サービス
LVS	Las Vegas Sands	29.11%	13.76%	2.30%	4.72%	33.74%	15.86%	-27.15%		一般消費財
GEV	GE Vernova Inc,	26.86%	48.67%							情報技術
WYNN	Wynn Resorts Ltd	24.71%	7.13%	5.24%	16.26%	12.75%	66.55%	-29.59%		一般消費財
TSLA	Tesla, Inc	22.19%	32.22%	5.29%	112.40%	-25.73%	803.63%	327.78%		一般消費財
ORCL	Oracle Corp	20.60%	20.68%	61.62%	108.47%	95.39%	285.61%	207.36%	508.22%	情報技術
DAL	Delta Air Lines	19.53%	7.06%	26.25%	54.56%	29.96%	128.58%	-13.19%		資本財・サービス
PLTR	Palantir Technologies Inc. Class A	18.17%	46.86%	116.66%	479.44%	104.28%				情報技術

S&P 500騰落率ワースト10：2024年9月（スピンオフ等の資本の変動は未調整）

ティッカー	会社名	9月	第3四半期	年初末	2022年末 以降	2021年末 以降	2020年 3月23日以降	2020年 2月19日以降	2000年 以降	セクター
DLTR	Dollar Tree Inc	-16.77%	-34.14%	-50.50%	-50.28%	-49.96%	-7.92%	-23.56%	553.23%	生活必需品
APA	APA Corporation	-14.15%	-16.92%	-31.83%	-47.60%	-9.04%	467.52%	-14.09%	52.97%	エネルギー
MRNA	Moderna, Inc.	-13.66%	-43.72%	-32.80%	-62.79%	-73.69%	151.52%	253.22%		ヘルスケア
J	Jacobs Solutions Inc.	-13.24%	-6.31%	0.85%	9.02%	-5.98%	107.74%	29.02%	1511.08%	資本財・サービス
DVN	Devon Energy Corp	-12.64%	-17.47%	-13.64%	-36.40%	-11.19%	533.01%	72.18%	137.99%	エネルギー
BA	Boeing Co	-12.49%	-16.47%	-41.67%	-20.18%	-24.48%	43.95%	-55.06%	266.91%	資本財・サービス
MCK	McKesson Corp	-11.88%	-15.34%	6.79%	31.80%	98.91%	327.14%	194.28%	2097.42%	ヘルスケア
FANG	Diamondback Energy Inc	-11.64%	-13.88%	11.17%	26.04%	59.85%	746.34%	117.43%		エネルギー
REGN	Regeneron Pharmaceuticals Inc	-11.26%	0.02%	19.69%	45.70%	66.46%	130.72%	162.28%	8145.02%	ヘルスケア
QRVO	Qorvo, Inc	-10.86%	-10.98%	-8.27%	13.97%	-33.95%	48.93%	-0.90%		情報技術

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P500銘柄入れ替え

追加/除外	実効日	ティッカー	会社名	セクター	サブセクター	注
追加	9/27/2024	AMTM	Amentum Holdings	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	Jacob's Solution (J) からスピノフ後、非上場企業と合併
除外	9/30/2024	BBWI	Bath & Body Works	一般消費財	その他専門小売り	S&P 小型株600指数に移行
追加	9/20/2024	PLTR	Palantir Technologies	情報技術	アプリケーション/ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/20/2024	DELL	Dell Technologies	情報技術	テクノロジー ハードウェア・コンピュータ記憶装置・周辺機器	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/20/2024	ERIE	Erie Indemnity	金融	動産保険・損害保険	S&P 中型株400指数から移行
除外	9/20/2024	AAL	American Airlines Group	資本財・サービス	旅客航空輸送	S&P 中型株400指数に追加
除外	9/20/2024	ETSY	Etsy Inc	一般消費財	大規模小売り	S&P 小型株600指数に追加
除外	9/20/2024	BIO	Bio-Rad Laboratories In	ヘルスケア	ライフサイエンス・ツール/サービス	S&P 中型株400指数に追加
追加	6/21/2024	KKR	KKR & Co	金融	資産運用会社・資産管理銀行	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/21/2024	CRWD	CrowdStrike Holdings	情報技術	システム/ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/21/2024	GDDY	GoDaddy	情報技術	インターネットサービスおよびインフラストラクチャー	S&P 中型株400指数から移行
除外	6/21/2024	RHI	Robert Half	資本財・サービス	人事・雇用サービス	S&P 小型株600指数に追加
除外	6/21/2024	CMA	Comerica	金融	都市銀行	S&P 小型株600指数に追加
除外	6/21/2024	ILMN	Illumina	ヘルスケア	ライフサイエンス・ツール/サービス	S&P 中型株400指数に追加
追加	5/7/2024	VST	Vistra	公益事業	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	S&P 中型株400指数から移行
除外	5/7/2024	PDX	Pioneer Natural Resources	エネルギー	石油・ガス探査・開発	Exxon Mobil (XOM)により買収
追加	3/28/2024	SOLV	Solventum Corp	ヘルスケア	ヘルスケア用品	3M (MMM)からスピノフ
追加	4/1/2024	GEV	GE Vernova	資本財・サービス	重電気機器	General Electric (GE)からスピノフ
除外	4/2/2024	VFC	V.F.	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 小型株600指数に移行
除外	4/2/2024	XRAY	Dentsply Sirona	ヘルスケア	ヘルスケア用品	S&P 中型株400指数に移行
追加	3/15/2024	SMCI	Super Micro Computer	情報技術	テクノロジー ハードウェア・コンピュータ記憶装置・周辺機器	S&P 中型株400指数から移行
追加	3/15/2024	DECK	Deckers Outdoor	一般消費財	履物	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/15/2024	WHR	Whirlpool	一般消費財	家庭用電気機器	S&P 中型株400指数に移行
除外	3/15/2024	ZION	Zion Bancorporation	金融	地方銀行	S&P 中型株400指数に移行
追加	12/15/2023	UBER	Uber Technologies	資本財・サービス	旅客陸上輸送	S&P 1500指数に新たに追加
追加	12/15/2023	JBL	Jabil	情報技術	電子製品製造サービス	S&P 中型株400指数から移行
追加	12/15/2023	BLDR	Builders FirstSource	資本財・サービス	建設関連製品	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/15/2023	SEE	Sealed Air	素材	靴・プラスチック包装製品・素材	S&P 小型株600指数に追加
除外	12/15/2023	ALK	Alaska Air Group	資本財・サービス	旅客航空輸送	S&P 小型株600指数に追加
除外	12/15/2023	SEDG	SolarEdge Technologies	情報技術	半導体素子・装置	S&P 小型株600指数に追加
追加	10/17/2023	LULU	Lululemon Athletica	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 1500指数に新たに追加
追加	10/17/2023	HUBB	Hubbell Inc	資本財・サービス	電気部品・設備	S&P 中型株400指数から移行
除外	10/17/2023	ATVI	Activision Blizzard Inc.	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・ホーム・エンターテインメント	Microsoft (MSFT)により買収
除外	10/17/2023	OGN	Organon & Co	ヘルスケア	医薬品	S&P 小型株600指数に移行
追加	9/15/2023	BX	Blackstone Inc	金融	資産運用会社・資産管理銀行	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/15/2023	ABNB	Airbnb Inc	一般消費財	ホテル/リゾート・クルーズ船	S&P 1500指数に新たに追加
除外	9/15/2023	LNC	Lincoln National	金融	生命保険・健康保険	S&P 小型株600指数に移行
除外	9/15/2023	NWL	Newell Brands	一般消費財	家庭用品・雑貨	S&P 小型株600指数に移行
追加	8/24/2023	KVUE	Kenvue Inc	生活必需品	パーソナル用品	Johnson & Johnson (JNJ)からスピノフ
除外	8/24/2023	AAP	Advance Auto Parts	一般消費財	自動車小売り	S&P 小型株600指数に移行
追加	6/16/2023	PANW	Palo Alto Networks	情報技術	システム/ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/16/2023	DISH	DISH Network	コミュニケーションサービス	ケーブル・衛星テレビ	S&P 小型株600指数に移行
追加	5/3/2023	AXON	Axon Enterprise	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	S&P 中型株400指数から移行
除外	5/3/2023	FRC	First Republic Bank	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入った後、JP Morgan (JPM)に売却
追加	3/17/2023	FICO	Fair Isaac & Co	情報技術	アプリケーション/ソフトウェア	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/17/2023	LUMN	Lumen Technologies	コミュニケーションサービス	代替通信事業者	S&P 中型株400指数に移行
追加	3/14/2023	BG	Bunge Limited	生活必需品	農産物	S&P 1500指数に新たに追加
除外	3/14/2023	SBNY	Signature Bank	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入る
追加	3/14/2023	PODD	Inuslet	ヘルスケア	ヘルスケア機器	S&P 1500指数に新たに追加
除外	3/14/2023	SIVB	SVB Financial Group	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入る
追加	1/3/2023	GEHC	GE HealthCare Technologies	ヘルスケア	ヘルスケア機器	General Electric (GE)からスピノフ
除外	1/4/2023	VNO	Vornado Realty Trust	不動産	オフィス不動産等信託	S&P 中型株400指数に移行
追加	12/21/2022	STLD	Steel Dynamics	素材	鉄鋼	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/21/2022	ABMD	Abiomed	ヘルスケア	ヘルスケア機器	Johnson & Johnson (JNJ)により買収
追加	10/31/2022	ACGL	Arch Capital Group Ltd	金融	動産保険・損害保険	S&P 1500指数に新たに追加
除外	10/31/2022	TWTR	Twitter	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	Elon Musk氏が買収
追加	10/11/2022	TRGP	Targa Resources	エネルギー	石油・ガス貯蔵・輸送	S&P 中型株400指数から移行
除外	10/11/2022	NLSN	Nielsen Holdings	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	Elliot Managementにより買収
追加	9/30/2022	PCG	PG&E Corp	公益事業	電力	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/30/2022	EQT	EQT Corp.	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	S&P 中型株400指数から移行
除外	9/30/2022	CTXS	Citrix Systems Inc	情報技術	アプリケーション/ソフトウェア	Vista Equity Partnersにより買収
除外	9/30/2022	DRE	Duke Realty Corp	不動産	産業用不動産投資信託	Prologis (PLD)により買収
追加	9/16/2022	CSGP	CoStar Group Inc	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/16/2022	INVH	Invitation Homes Inc	不動産	住宅用不動産投資信託	S&P 1500指数に新たに追加
除外	9/16/2022	PVH	PVH Corp	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 中型株400指数に追加
除外	9/16/2022	PENN	PENN Entertainment Inc	不動産	カジノゲーム	S&P 中型株400指数に追加
追加	6/17/2022	KDP	Keurig Dr Pepper	生活必需品	清涼飲料	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/17/2022	ON	ON Semiconductor	情報技術	半導体	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/17/2022	IPGP	IPG Photonics	情報技術	電子製品製造サービス	S&P 中型株400指数に移行
除外	6/17/2022	UA	Under Armour Cl 'C'	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 中型株400指数に移行
除外	6/17/2022	UAA	Under Armour Cl 'A'	一般消費財	アパレル・アクセサリー・贅沢品	S&P 中型株400指数に移行
追加	6/7/2022	VICI	VICI Properties Inc.	不動産	特化型不動産投資信託	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/7/2022	CERN	Cerner Corp	ヘルスケア	ヘルスケア/テクノロジー	Oracle (ORCL)により買収
追加	4/3/2022	CPT	Camden Property Trust	不動産	住宅用不動産投資信託	S&P 中型株400指数から移行
除外	4/3/2022	PBCT	People's United Financial	金融	地方銀行	M&T Bank (MTB)により買収
追加	3/1/2022	MOH	Molina Healthcare	ヘルスケア	管理健康医療	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/1/2022	INFO	HS Markit	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	S&P Global (SPGI)により買収
追加	2/1/2022	CEG	Constellation Energy	公益事業	電力	Exelon (EXC)からスピノフ
除外	2/2/2022	GPS	Gap	一般消費財	衣料小売り	S&P 中型株400指数に移行

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

2024年 10月	イベント
Tuesday, October 1, 2024	9月のS&Pグローバル製造業PMI（午前9時45分発表）
Tuesday, October 1, 2024	9月のISM製造業景況指数（午前10時発表）
Tuesday, October 1, 2024	8月の建設支出（午前10時発表）
Tuesday, October 1, 2024	8月のJOLTS（Job Openings and Labor Turnover Survey、求人労働異動調査、午前10時発表）
Wednesday, October 2, 2024	9月の自動車販売台数
Wednesday, October 2, 2024	9月のADP全米雇用統計
Thursday, October 3, 2024	9月のS&Pグローバルサービス業PMI（午前9時45分発表）
Thursday, October 3, 2024	9月のISM非製造業景況指数（午前10時発表）
Thursday, October 3, 2024	8月の製造業受注（午前10時発表）
Friday, October 4, 2024	9月の雇用統計
Tuesday, October 8, 2024	8月の貿易収支
Wednesday, October 9, 2024	8月の卸売在庫（午前10時発表）
Wednesday, October 9, 2024	米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録（午後2時発表）
Thursday, October 10, 2024	9月の消費者物価指数
Wednesday, October 11, 2023	9月の卸売物価指数
Friday, October 11, 2024	10月のミシガン大学消費者信頼感指数速報値（午前10時発表）
Wednesday, October 16, 2024	9月の輸出・輸入物価統計
Thursday, October 17, 2024	9月の小売売上高
Thursday, October 17, 2024	9月の鉱工業生産
Thursday, October 17, 2024	8月の企業在庫（午前10時発表）
Thursday, October 17, 2024	10月のNAHB住宅市場指数（午前10時発表）
Friday, October 18, 2024	9月の住宅着工件数と建設許可件数
Saturday, October 19, 2024	1987年10月19日のブラックマンデーの大暴落から37年目。同日にS&P 500指数は20.47%下落。
Monday, October 21, 2024	9月の景気先行指数（午前10時発表）
Wednesday, October 23, 2024	9月の中古住宅販売件数（午前10時発表）
Thursday, October 24, 2024	10月のS&Pグローバル総合PMI速報値（午前9時45分発表）
Thursday, October 24, 2024	9月の新築住宅販売件数（午前10時発表）
Friday, October 25, 2024	9月の耐久財受注
Friday, October 25, 2024	10月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値（午前10時発表）
Tuesday, October 29, 2024	9月の財の貿易収支
Tuesday, October 29, 2024	9月の小売在庫
Tuesday, October 29, 2024	9月の卸売在庫
Tuesday, October 29, 2024	8月のS&Pコアロジック・ケース・シラー住宅価格指数
Tuesday, October 29, 2024	8月のFHFA住宅価格指数
Tuesday, October 29, 2024	10月のコンファレンスボード消費者信頼感指数（午前10時発表）
Tuesday, October 29, 2024	9月のJOLTS（Job Openings and Labor Turnover Survey、求人労働異動調査、午前10時発表）
Wednesday, October 30, 2024	10月のADP全米雇用統計
Wednesday, October 30, 2024	2024年第3四半期の国内総生産（GDP）成長率速報値
Wednesday, October 30, 2024	9月の中古住宅販売仮契約指数（午前10時発表）
Friday, November 1, 2024	10月の雇用統計
Friday, November 1, 2024	10月のS&Pグローバル製造業PMI（午前9時45分発表）
Friday, November 1, 2024	10月のISM製造業景況指数（午前10時発表）
Friday, November 1, 2024	9月の建設支出（午前10時発表）
毎水曜日	週間住宅ローン申請指数（祝日調整済み）
毎水曜日	EIA週間石油在庫統計（午前10時30分発表、祝日調整済み）
毎木曜日	週間新規失業保険申請件数

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年9月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

免責事項

著作権© 2024年 S&Pグローバルの一部門であるS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。不許複製、Standard & Poor's、S&P、S&P 500、は、S&Pの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の登録商標です。LATIXX、MEXICO TITANS及びSPCIIは、S & Pグローバル部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCにライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ、S&Pまたはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを旨とする投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは投資顧問会社ではなく、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&Pの米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの1社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式とどのような手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性や利用可能性を保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を負いません。

格付けやリサーチ、バリュエーションなどのクレジット関連及びその他の分析は通常、スタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLCやキャピタルIQインク（それらに限定されず）などのS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社が提供します。そうした分析や内容の記述は、表明された日付時点における意見の記述であり、事実を記述しているものではありません。いかなる意見、分析及び格付確認決定も、いかなる証券を購入、保有、または売却するか、或いは投資決定を行うことの推奨ではなく、いかなる証券の適合性を示すものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、いかなる様式または形式であれ公表後に内容を更新する義務を負いません。投資やその他のビジネス上の意思決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、内容はユーザーやその経営者、従業員、アドバイザー、及び（または）顧客などのスキルや判断、経験の代替にはなりません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは、受託者または投資アドバイザーとして行動することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは信頼できると考える情報源から情報を入手しますが、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、入手する情報の監査を行わず、デューデリジェンスまたは独立した検証の義務を負うこともありません。

格付け機関が、ある管轄区においてある特定の規制目的のために別の管轄区で発行された格付けを承認することを規制当局が許す限りは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスはいつでもその裁量で、そうした承認を割当て、取り下げ、或いは停止する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービスを含むS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、承認の割当て、取り下げ、または停止に起因するいかなる義務も、またそのために被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も拒否します。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、格付け及び特定のクレジットに関連する分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社または債務者から報酬その他の経済的便益を受ける場合があります。係るS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、その意見と分析を公表する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービスから公開される格付けや分析は、そのウェブサイトwww.standardandpoors.com（無料）、www.ratingsdirect.com及びwww.globalcreditportal.com（有料）から入手可能であり、S&Pレーティングズ・サービスの出版物や第三者再配布業者などを通じたその他の手段でも配布される場合があります。弊社の格付け利用料に関する詳しい情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfeesから入手できます。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

グローバル業種分類基準（GICS®）は、スタンダード・アンド・プアーズ及びMSCIによって開発され、両社の独占的所有物であり登録商標です。MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びGICS業種分類の編纂、計算、作成に関わるその他の当事者のいずれも、係るデータの保証や表現（またはその使用により得られた結果）に関していかなる表明や示唆も行っておらず、そうしたすべての当事者は明示的に、特定の目的に照らした係るデータの独自性、正確性、完全性、販売可能性、適合性に関するいかなる保証も拒否します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合もMSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びその関連会社及びGICS業種分類の作成または編纂に関わるサードパーティは、いかなる直接的、間接的、特殊的、懲罰的、結果的、その他の損害（逸失利益を含む）について、例えば損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を有していません。

このレポートは、英文原本から参照用の目的でS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（SPDJ）が作成したものです。SPDJは、翻訳が正確かつ完全であるよう努めましたが、その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。英文原本についてはこちらをご参照ください。https://www.spglobal.com/spdji/en/documents/performance-reports/sp-global-equity-indices-monthly-update.pdf?force_download=true